

第6課題

PTAおよび地域社会に関する課題

「地域社会の教育力の向上に関すること」

—地域の人材活用を通して、コミュニティスクールの立ち上げを考える—

笛吹支部

笛吹市立富士見小学校

秋山悦子

1 現状

令和7年度

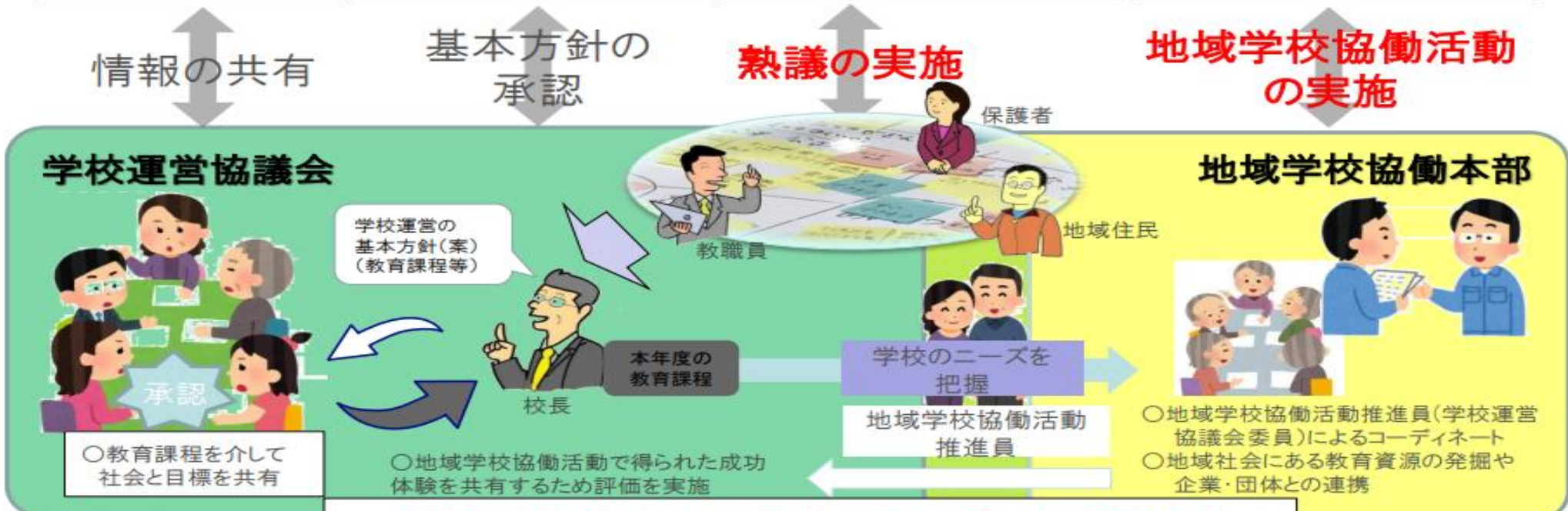
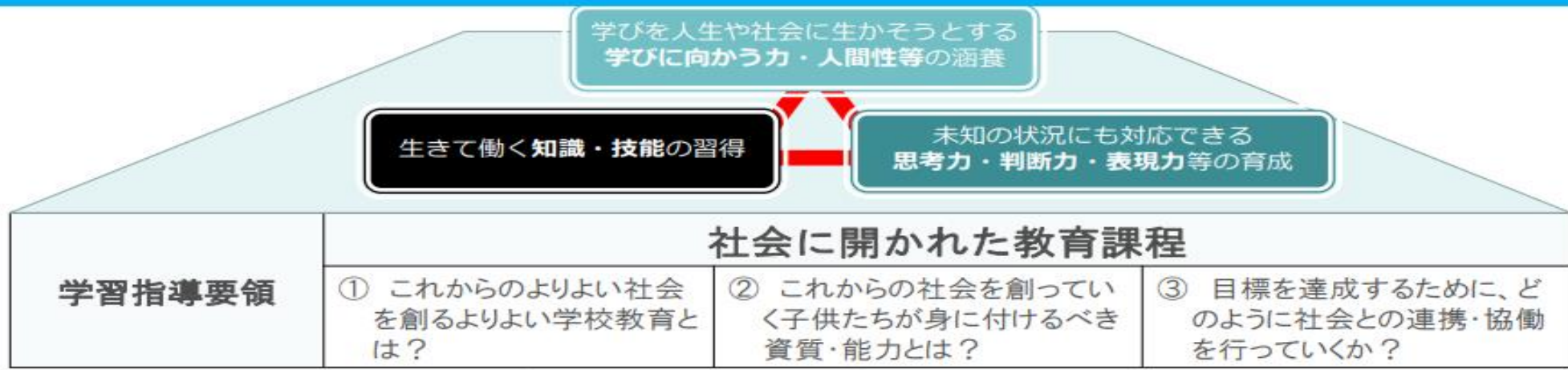
笛吹支部

富士見小学校

学校運営協議会設置校

1 / 19

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進



学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な推進

2 研究方法

- 1 組織作りなど学校運営協議会についての学習会を実施し、学校運営協議会設置校の現状を知る。**
- 2 各校の教頭がこれまでの経験や県内外の学校運営協議会の取組を紹介する等、人的・物的資源の活用についての情報交換をする。**

3 研究内容

1－① 学校運営協議会

第1回(4/23)

- ・委嘱上の交付
- ・学校経営方針の承認
- ・学校の近況報告
- ・会長、副会長の任命
- ・スクールボランティアの募集

3 研究内容

1－① 学校運営協議会

第2回(9/30)

- 授業参観後の意見交換
- 学校評価(自己評価)の説明
- スクールボランティアの活用状況について

3 研究内容

1－① 学校運営協議会

第3回(2/17)

- **学校評価(関係者評価)の分析**
- **学校の現状と課題**
- **来年度に向けて**

3 研究内容

1—② 地域の人的・物的資源を生かした教育活動

世代間交流会

5月27日(水)

公民館近くの畑で3年生41人と区民
による大豆・サツマイモ苗を植えた。

10月末には収穫祭を計画している。



3 研究内容

1—② 地域の人的・物的資源を生かした教育活動

富士見の子どもを守り育てる運動実行委員会

6月4日(水)
73名参加
あいさつやSNS
の使い方など保
護者・教育行
政・区長・公民
館長・中学校教
員や中学生保
護者が真剣に
話し合った。



3 研究内容

1-② 地域の人的・物的資源を生かした教育活動

読み聞かせボランティア

ちょこっとボランティア

地域の中学生による陸上指導

英語アシスタント

登下校の見守り隊

マシンアシスタント

水泳ボランティア

書写アシスタント

一例

3 教育内容

2—①市内各校における地域の人的・物的資源を活用した教育活動の一部

①石和西小学校

- ・放課後子ども教室
- ・ふれあい教室(1～3年生)
- ・復習教室(4～6年生)
- ・石和西小地域安全ボランティア
- ・小石和地区活性化委員会
- ・ちょボラ
- ・子どもを守り育てるPTA活動
- ・西小の子どもを守り育てる運動
実行委員会

②一宮西小学校

- ・登下校の見守り隊
- ・農業体験
- ・スキー教室の指導
- ・民生委員の学校訪問
- ・地域の文化祭に参加

3 教育内容

2-①市内各校における地域の人的・物的資源を活用した教育活動の一部

③一宮南小学校

- ・登下校の見守り隊
- ・農業体験
- ・スキー教室の指導
- ・民生委員の学校訪問
- ・地域の文化祭に参加

④一宮中学校

- ・民生委員の学校訪問
- ・地域の文化祭に参加

3 教育内容

2-①市内各校における地域の人的・物的資源を活用した教育活動の一部

⑤八代小学校

- ・子どもチャレンジ教室
- ・登下校の見守り隊
- ・中庭のぶどう棚の管理
- ・かかし祭り
- ・かかし作りの指導

⑥芦川小学校

- ・プール清掃
- ・地域と合同の運動会の実施
- ・ほかほか祭
(木の伐採から炭焼きまで)

3 教育内容

2-①市内各校における地域の人的・物的 資源を活用した教育活動の一部

⑦春日居小学校

- ・見守り隊
- ・米づくり体験

⑧石和中学校

- ・年2回学校運営審議会の開催
- ・小学生への陸上指導

4 地域の人的・物的資源を活用する 際の課題

- **共働き**が当たり前となり、学校へ協力してくれる方の高齢化。
- ボランティアを募集してもなかなか**集まらない**。
- 地域住民から「地域の関心が学校に向いてなのではないか。**地域の中の学校**ということを地元の人が忘れていてのではないか」といった意見を聞くことができた。地域と学校をつなぐマネジメントが必要。
- **コーディネーターの役割**を誰が担うのか、どうすれば**持続可能な形**がとれるのか。
- **教育課程への位置づけ**
- **ニーズのすり合わせ**

学校と地域が
共に子どもを
育てるには…



5 学校運営協議会設置校の成果

- 学校、家庭、地域の**連携が強化**される。
- 学校教育への**共通理解**が深まる。
- 一般的に脆弱化されたと言われる地域社会のつながりが学校を中心として**活性化**される。
- 地域間交流の**活動が増えた**。

5 研究のまとめ



- **今後、学校運営協議会設置校増加に伴う組織作りの必要性**
- **学校運営協議会と地域学校協働活動の連携の強化**
- **教育委員会の伴走支援体制の重要性**
- **子どもたちの郷土を大切にし、慈しむ心が育つことを期待**

参考・引用文献

・文部科学省(2022)「コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議 最終まとめ」

・文部科学省 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」

https://manabi-mirai.mext.go.jp/upload/19.10.30kagoshimaforum_gyouseisetsumei.pdf

・山梨県教育委員会(R6改定版)学校運営協議会設置に向けて(義務教育課)

<https://www.pref.yamanashi.jp/documents/102945/r6kaiteiban-cssettinimukete.pdf>